

こんにちは

日本共産党

横浜市議団です

日本共産党
横浜市議員団
2009. 9. 2号

横浜市中区港町1-1(市庁舎内)
電話 671-3032 FAX 641-7100
E-mail: info@jcp-yokohama.com
http://www.jcp-yokohama.com/

林新市長
に望む

市民目線の市政運営を!

先月30日に投・開票された横浜市長選挙では、民主党推薦の林文字氏が当選し、新しい市長のもとでの市政が始まります。日本共産党横浜市議団は、市長選の結果についての見解を發表しました。

ずたずたの市政をどう再建するか

7年4か月間の中田市政では、行政改革の名のもとに市民サービスが切りきざまれ、コスト最優先の行政民営化の強行で、横浜市政がずたずたにされました。この横浜市政を林氏がどのように再建していくのかが、注目されます。

林氏は、選挙公約で、市民の暮らし、行政サービス、環境行動を、それぞれ主婦、現場、地域が目線で充実・向上させるとしており、その中でも子育て支援に最も重点を置くとしていますが、今後の施策に期待します。

その一方、財政再建を経営者目線で行い、行政支出や市債発行の削減、積極的な企業誘致の推進を行うとしていますが、その結果、大企業優遇、市民生活を犠牲にした借金返済優先の中田市政の二の舞にならないかと懸念するところです。

日本共産党・岡田候補、健闘

日本共産党公認候補の岡田政彦氏は当選には及ばなかったものの、得票数200,283票、得票率10.09%を獲得しました。この20万票を超える得票は、過去8回、わが党が推薦候補を立ててきた市長選のなかで、1978年に朝倉さとし候補が獲得した269,325票につぐものでした。

岡田候補は、総選挙と同時に実施された今回の市長選挙



就任のあいさつに訪れた林文字新市長(右から3人目)と握手する(左から)関美恵子、中島文雄、大貫憲夫、河治民夫、白井正子の各市議=9月1日、横浜役所議員控室

を、くらしから安心と希望をうばってきた自民党、公明党の政権を退場させ、弱肉強食の政治を横浜市政に持ち込んで市民を苦しめてきた中田流「改革」、自民、公明、民主の「オール与党」政治と決別する絶好のチャンスととらえ、国民健康保険証のとりあげ中止や子どもの医療費無料化の年齢引き上げなどの福祉の再生、若者の雇用の創出、ムダな大企業優遇・大型公共事業優先から福祉・くらし優先の税金の使い方に変えることなどを公約にたたかってきました。この公約は、党市議団が75万世帯に行った市民アンケート(回答数約9,600)に寄せられた声も参考にしておこなわれたものであり、市民の生の要求に応えるものでした。

ひきつづきががんばります

日本共産党横浜市議団は、この前進を土台として、市民の切実な要望の実現と、岡田氏を先頭にして訴えた「福祉を再生し、いのちとくらしを支える市政」「憲法を生かし、非核・平和の国際都市」「市民とともに、文化・スポーツが花開くヨコハマ」を実現するため、ひきつづき、奮闘します。